

都立図書館・学校支援シリーズ

# ひとりで よめるよ



東京都立多摩図書館

# 目 次

はじめに .....	1
『ひとりでよめるよ』の使い方 .....	2
 たべもの .....	3
 ともだち .....	7
 どうぶつ .....	13
 かぞく .....	17
 ぼうけん .....	22
タイトルさくいん (50音順) .....	28
物語の読み聞かせを .....	29



# はじめに

## しょうがくせい 小学生のみなさんへ

とりつたまとしょかんから、しょうがくせい小学生のみなさんへ、50さつほんの本をしょうかいします。

ここには、たのしいほん本、わくわくする本など、たくさんほんの本があります。

よんで大だいすきになったほん本は、みなさんの一生いっしょうのともだちになります。この中なかから、そのような1さつを、ぜひ見つけてください。

## 先生方や子供の読書に関わる方へ

このたび都立多摩図書館では、幼年文学（小学校低学年くらいの子供を対象にした物語）を紹介する冊子『ひとりによめるよ』を作りました。

冊子には、小学校低学年の子供が1冊読んだという喜びを味わうことのできる物語を50冊、都立多摩図書館が選び掲載しています。

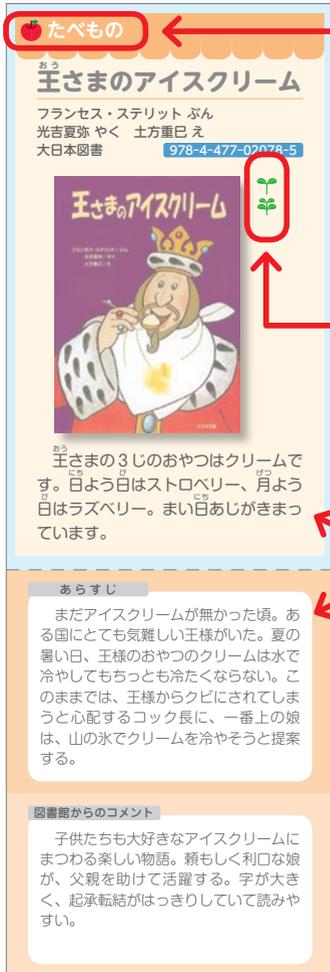
小学校に入ると子供たちは字を覚え、次第に一人で読むことができるようになります。本の楽しさを経験し、読書への苦手意識を無くすことは、子供の今後の読書生活を豊かにするでしょう。しかし、子供の状況は様々です。抵抗なく一人読みに移行できる子供もいれば、一人で読むことに困難を感じる子供もいます。子供が一人で読めるようになるには、大人の手助けが必要です。

子供に読書の楽しさを伝えるために、この冊子をご活用ください。



# 『ひとりでよめるよ』の使い方

- 幼年文学を50冊紹介しています。1冊ごとに子供向けの本の紹介と大人向けの案内を載せています。
- 50冊を5つのテーマ「たべもの」「ともだち」「どうぶつ」「かぞく」「ぼうけん」に分けて紹介しています。



・テーマを示すマーク

・書誌事項は図書館の情報源の記述のとおりとしています。

・難易度のおおよその目安



が多いほど  
難易度が上がります

・上部の紹介文は子供向けです。下部の「あらすじ」と「図書館からのコメント」は、大人向けの案内です。ページをコピーして切り取り、活用することができます。上部のみを子供に配布したり、図書館の展示に使用することもできます。

- 掲載図書50冊は、平成27年11月現在入手可能です。学校図書館での選書等の参考にしてください。
- 50冊は、読み聞かせても十分楽しむことができます。巻末にも図書館を一覧で掲載しています。この冊子を読み聞かせにもご活用ください。

## おう 王さまのアイスクリーム

フランス・ステリット ぶん  
光吉夏弥 やく 土方重巳 え  
大日本図書

978-4-477-02078-5



おう  
王さまの3じのおやつはクリームで  
す。日よう日はストロベリー、月よう  
日はラズベリー。まい日あじがきまっ  
ています。

### あらすじ

まだアイスクリームが無かった頃。ある国にとても気難しい王様がいた。夏の暑い日、王様のおやつはクリームは水で冷やしてもちっとも冷たくなならない。このままでは、王様からクビにされてしまおうと心配するコック長に、一番上の娘は、山の氷でクリームを冷やそうと提案する。

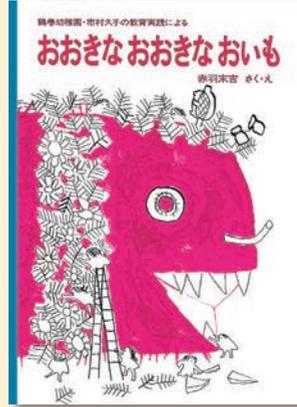
### 図書館からのコメント

子供たちも大好きなアイスクリームにまつわる楽しい物語。頼もしく利口な娘が、父親を助けて活躍する。字が大きく、起承転結がはっきりしていて読みやすい。

## おおきなおおきなおいも

赤羽末吉 さく・え  
福音館書店

978-4-8340-0360-4



おお  
あおぞらようちえんのみんなは、大  
きな大きなおいもをかきます。おいも  
はふねになります。きょうりゅうにも  
なります。

### あらすじ

雨のため遠足に行けなくなったあおぞら幼稚園の子供たちは、大きな紙をつなげて、とてつもなく大きいおいもを描く。子供たちはそのおいもを掘って、ヘリコプターで運んだり、恐竜にしたりする。最後はおながすいたので、みんなでおなかいっぱい食べてしまう。

### 図書館からのコメント

おいもだけに色がついた挿絵が印象的。短い文章で書かれ、最初の一人読みにお薦め。舞台は幼稚園だが、子供の想像力あふれるスケールの大きいストーリーなので、小学生にも味わってもらいたい。

## けしつぶクッキー

マージェリー・クラーク 作  
モウドとミスカ・ピーターシャム 絵  
渡辺茂男 訳  
童話館出版

978-4-88750-147-8



いえのそとで、へんななきこえがきこえました。アンドルーシクが、とをあげると、<sup>おお</sup>大きなみどりのがちょうがおこっていました。

### あらすじ

カチューシカお婆さんは、土曜日に、けしつぶクッキーを作る。ある土曜日、お婆さんは、クッキーの見張りをアンドルーシクに頼んで出かける。だが、アンドルーシクは、羽布団の上で飛び跳ねてばかりいる。すると、大きな緑色のガチョウがやって来て、羽布団の羽を返せ、とがなりたてる。

### 図書館からのコメント

アンドルーシクとエルミンカの様子や行動がいかにも子供らしく微笑ましい。素朴でのんびりとした物語が8編収録されている。繰り返しのある昔話のような物語は、読み聞かせてもよい。

## しょうぼうしょは おお 大いそがし

ハネス・ヒュットナー 作  
ゲルハルト・ラルル 絵 たかはしふみこ 訳  
徳間書店

978-4-19-862857-4



でんわがなりました。しょうぼうしたちは、しょうぼうしゃにとびのり、しゅつどうです。なかなかおやつをたべることができません。

### あらすじ

消防署のおやつ時間。みんなが「いただきます」と言いかけたそのとき、電話が鳴る。全員消防車に飛び乗って、現場に駆けつける。無事に火を消して消防署に帰ってきて、一休みしようとしたそのとき、また電話が鳴る。男の子が池に落ちた。消防士たちは、休む暇も無く、緊急出動する。

### 図書館からのコメント

子供たちに人気の消防士の物語。火事を消すだけでなく、溺れた子供を助けたり、倒れた木をどかしたりと、大忙しの消防士たちの様子がコミカルに描かれ、楽しく読むことができる。

## ぞうのたまごのたまごやき

寺村輝夫 作 和歌山静子 絵

理論社

978-4-652-04077-5



おう 王さまは、くに中の人に、たまごや  
 きをごちそうする、といました。で  
 も、それにはぞうのたまごがひつよう  
 です。

### あらすじ

王様は、卵焼きが大好き。王子様が生まれると、国中の人に卵焼きをごちそうすると言う。大臣たちがそんなにたくさん卵は無いと言うと、ゾウの卵を持ってくるようにと言う。大臣たちは感心し、家来たちはゾウの卵を探しに行くが…。

### 図書館からのコメント

わがままな王様が主人公の、ユーモアあふれる物語。王様たちが引き起こす騒動の物語が、「王さまのえほん」シリーズとして5冊刊行されている。シリーズを続けて読み、楽しむことができる。

## はらぺこプンタ

武井博 作 奈良坂智子 絵

講談社

978-4-06-197810-2



私たちのプンタがあつめたたまごから生まれたのは、なんと、ヒヨコ、アヒル、ペンギン、ダチョウ、フクロウ、ワニでした！

### あらすじ

はらぺこイタチのプンタは、卵をかえして鶏肉を食べようと思い、あちこちから卵を集めてくる。しかし、ダチョウ、ペンギン、ワニなど予想外な動物も生まれてしまう。ヒナたちはプンタを「おとうさん。」と呼び、食べ物ねだるので、プンタは餌探しに奔走する。

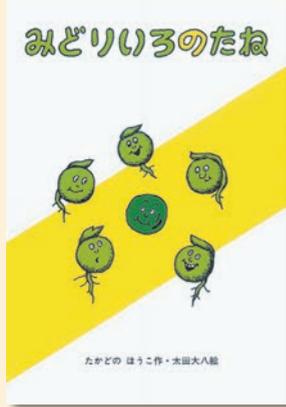
### 図書館からのコメント

ヒナたちを食べてしまおうとしていたプンタが、「おとうさん。」と慕われることで、ヒナたちの世話をする喜びに目覚めていく様子がよく描かれている。ヒナたちがプンタを思いやる様子にも心打たれる。

## みどりいろのたね

たかどのほうこ 作 太田大八 絵  
福音館書店

978-4-8340-0767-1



まあちゃんは、はたけにたねをうめるとき、メロンあじのあめ<sup>だま</sup>も、うめてしまいました。あめ<sup>だま</sup>玉<sup>つち</sup>は土<sup>なか</sup>の中<sup>なか</sup>でどうなるかな？

### あらすじ

まあちゃんは、畑にエンドウ豆の種を埋めるとき、舐めていたメロン味のアメと一緒に埋めてしまう。土の中でエンドウ豆はメロン味のアメをすっかり舐め、大きく育つ。まあちゃんが収穫したエンドウ豆は、アメのように緑色でメロン味がした。

### 図書館からのコメント

絵本と幼年文学の中間に位置するような本。挿絵が多く文章が少ないので、一人読みの最初の1冊にお薦め。登場人物のせりふが吹き出しで書かれている箇所は、文章を読みとることに慣れていない子供にはわかりやすい。

## ものぐさトミー

ペーン・デュボア 文・絵 松岡享子 訳  
岩波書店

978-4-00-115129-9



トミーはとびっきりのなまけもの。ごはんをでんきしょくじきでたべます。おかゆ、ばなな5ほん、りんご4つ、もっともったべます。

### あらすじ

トミーは起き上がるのも、お風呂も着替えも食事さえ電気仕掛けの機械にしてもらっていた。あるとき、停電が起こり機械が止まる。7日後、機械は動き出したが、7日前のお湯はすっかり冷め、まずは水風呂に落とされる。

### 図書館からのコメント

ユーモアいっぱい楽しい物語。機械は一切容赦しないため、ストーリーはとんでもない展開となる。前半と後半の対比、含みのある終わり方は読み慣れた子供にお薦め。

## おばあちゃんの すてきなおくりもの

カーラ・ステューブズ さく  
掛川恭子 やく イブ・ライス え  
のら書店

978-4-931129-36-8



もぐらたちは、はたねずみのおばあちゃんが大すきです。おばあちゃんだいは、すてきなおはなしをしてくれるのです。

### あらすじ

寒い冬、仲良しのモグラとトガリネズミとハツカネズミは、ハタネズミのおばあちゃんの誕生日に、パッチワークで作ったふとんをプレゼントした。一人暮らしのおばあちゃんは、3匹にいろいろな話をしてくれた。春のある日、おばあちゃんはプレゼントのふとんをかけたまま亡くなる。

### 図書館からのコメント

4章だてで、子供たちとおばあちゃんとの交流と別れが描かれる。このような深みのある物語も、子供たちに味わってもらいたい。

## おまじないつかい

なかがわちひろ 作  
理論社

978-4-652-00911-6



ゆらちゃんのおかあさんは、ちょっとすごい。だって「おまじない」がつかえるのです！

### あらすじ

ゆらのお母さんは、よくおまじないを使う。ゆらの影響で、クラスでもおまじないが流行し始めるが、おまじないを信じない男の子と勝負して、ゆらは負けてしまう。そこでゆらが、男の子に「オッコチテシマエソウカー！」というおまじないをかけると、男の子は登り棒から落ちてしまう。

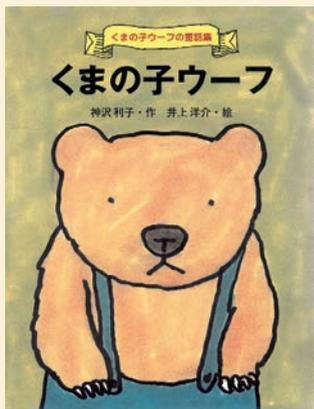
### 図書館からのコメント

挿絵の雰囲気や登場人物のせりふがかわいらしい。主人公の一人称で物語が展開し、主人公の内面の葛藤も多く描かれているため、物語を読むことに少し慣れた子供向け。中学年くらいの子供にも薦めたい。

# くまの子ウーフ

神沢利子 作 井上洋介 絵  
ポプラ社

978-4-591-06947-9



くまのウーフは、しりたがりや。川なかをおよぐフナに、どうしたらさかなになれる？とききました。

## あらすじ

ウーフは、遊ぶことと食べること、色々なことを考えるのが大好きなクマの子。ある日、川の中で気持ち良さそうに泳ぐメダカを見て、とてもうらやましく思う。そのとき、川の中からフナが顔をつき出した。ウーフが魚になれる方法を探ねると、フナは辛い修行が必要だと言う。

## 図書館からのコメント

「どうして？」とたくさん質問するウーフを、子供は自分に置き換えて読むことができる。短い物語が九つ入っているので、朝読書や休み時間の読書に1話ずつ読むこともお勧め。

# きょうりゅうが がっこう 学校にやってきた

アン・フォーサイス 作 熊谷鉦司 訳  
むかいながまさ 絵  
金の星社

978-4-323-00942-1



トムがきょうしつのみどころから、そとをながめると、どうぶつが見えました。きょうりゅうです。しんじられません。

## あらすじ

小学校の校庭に恐竜が現れて、子供たちも先生もびっくり。恐竜は教室に入ってきて机によりかかり眠ってしまう。給食の時間になり、皆が食堂に行くと、恐竜もついて来て、たくさんのキャベツをたらいげる。恐竜をどうするか。学校は博物館や動物園の人、消防隊を呼ぶのだが。

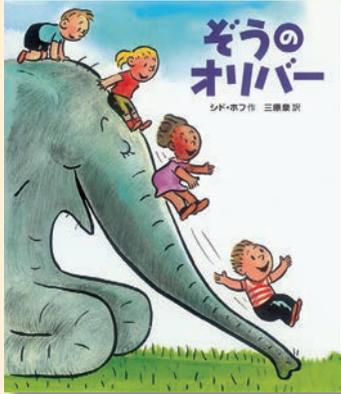
## 図書館からのコメント

学校の日常生活の中で突然起こった信じられない事件に、読者は惹きつけられ、どんどん読み進めていくことができる。人懐こい恐竜と子供たち、先生をはじめとする周囲の大人たちのやりとりが楽しい。

## ぞうのオリバー

シド・ホフ 作 三原泉 訳  
偕成社

978-4-03-313540-3



オリバーは、サーカスだんに入れま  
せん。どうしよう。どうぶつえんにいっ  
たり、ペットになろうとしたり、いろ  
いろためします。

### あらすじ

サーカス団に入るため、ゾウのオリバーは仲間と海を渡ってきた。しかし、オリバーだけが入ることができない。オリバーは動物園に行ったり、ペットの犬になろうとしたり、滑り台の代わりにするが、夢はサーカス団に入ること。子供たちにダンスを披露すると、たくさんの見物人がやって来る。

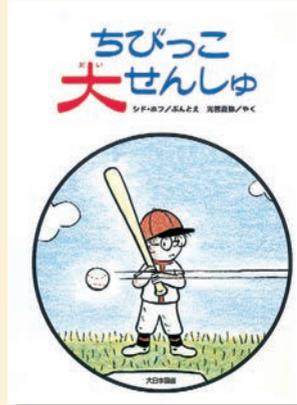
### 図書館からのコメント

ユーモアのある文章で、オリバーが自分にできることを探していく様子が描かれている。サーカス団に入ったオリバーと、仲良しの子供たちとの最後のやりとりが印象的。全ページに大きなカラーの挿絵があり、親しみやすい。

## ちびっこ大せんしゅ

シド・ホフ ぶんとうえ 光吉夏弥 やく  
大日本図書

978-4-477-02081-5



9かいうら、ツー・アウトまんるい。  
だいだがつけられました。ベンチにす  
わっていた、一ばん小さいハロルドの  
出ばんです。

### あらすじ

リトル・リーグの中で一番背が低いハロルドは、守備でも打撃でも活躍できず、いつもベンチで仲間の練習を見ていた。ところがシーズン最後の試合の日。9回裏、ツー・アウト満塁という絶好の場面で、ハロルドが打席に立つことになる。

### 図書館からのコメント

子供たちにも身近な野球の物語。練習では良いところ無しの主人公が試合で大活躍するストーリーは、爽快感を味わえる。文字も大きく読みやすい。

## どれみふあけろけろ

東君平 作・絵  
あかね書房

978-4-251-00684-4



くさむらで、かえるたちが<sup>しゅつ</sup>出せきをとってました。たっくん<sup>な</sup>の名まえもよばれます。かえる<sup>がっこう</sup>の学校<sup>じゅうがく</sup>に入学です。

### あらすじ

プールの授業が嫌いなたっくんが、池のそばで「かえるになりたいなあ。」と言うと、近くにカエルの学校が現れる。カエルの学校では、「どれみふあけろけろ」と上手に歌う方法や上手に泳ぐ方法を教わるが、ヘビがやって来てカエルたちは池の中に消えてしまう。

### 図書館からのコメント

子供にとって身近な場所であるプールを取り上げ、そこで子供が「こうなるといいな」という希望が見事に描かれている。文字が大きく読みやすい。緑と黒の2色で描かれた挿絵も力強く、親しみやすい。

## ふたごのでんしゃ

渡辺茂男 作 堀内誠一 絵  
あかね書房

978-4-251-00645-5



「べんけい」と「うしわか」は、なかよしのでんしゃ。まい日<sup>にち</sup>たくさんのおきゃくさんをのせて、ごきげんではしります。

### あらすじ

「べんけい」と「うしわか」は小さな町の路面電車。やがて町の道路にはたくさんのお自動車が走るようになり、路面電車を利用する人は少なくなる。2両はとうとう路面電車としての役目を終えることになるが、図書館として生まれ変わり、再び子供たちの人気者となる。

### 図書館からのコメント

子供たちに人気のある電車が主人公。自動車が普及し始めた頃の時代背景は理解できなくても、楽しんで読める。役割が変わって再び人気者となった「べんけい」と「うしわか」のわくわくした気持ちを共有できる。

## ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作 三木卓 訳

文化出版局

978-4-579-40247-2



はるがきました。かえるくんは、がまくんを一生けんめいおこしますが、おきてくれません。そこで、いいことをおもいつきます。

### あらすじ

4月、かえるくんは、がまくんの家に春が来たことを知らせに行く。寝ていたがまくんは、5月に来るようになると、また寝てしまう。かえるくんは、昨年の11月のままのがまくんのカレンダーを4月まで破り始める。5月になったカレンダーを見せると、がまくんは起き、二人は外へ出て行く。

### 図書館からのコメント

五つの短い物語が収録されている本。仲良しのかえるくんとがまくんのやりとりが温かく、またユーモラスに綴られている。色調を抑えたかわいらしい挿絵が随所に描かれ、子供が物語の内容を理解するのを助ける。

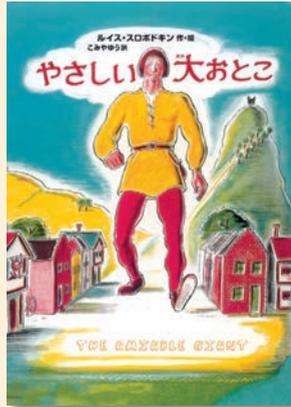
## やさしい大おとこ

ルイス・スロポドキン 作・絵

こみやゆう 訳

徳間書店

978-4-19-863627-2



大おとこは、人げんたちと、ともだちになりたくて、村にいきました。でも、みんなこわがって、かくれてしまいます。

### あらすじ

昔、高い山のお城に心の優しい大男が住んでいた。友達が欲しくて谷間の村に出かけるが、村人は家の中に閉じこもってしまう。村に住む魔法使いは、大男が多くの食糧を欲しがっていると嘘を言い、村人をますます怖がらせ、集まった食糧を自分のものにしてしまう。

### 図書館からのコメント

女の子のグエンドリンの活躍で、大男が村人たちと友達になれる、昔話のような物語。少し長い話だが、優しい大男、悪い魔法使い、賢い子供と登場人物の性格がはっきりと描かれ、内容は理解しやすい。

## ゆきだるまのるんとぶん

たかどのほうこ 作・絵  
偕成社

978-4-03-460270-6



ふたごのゆきだるまのるんとぶん。  
「るん」が赤いぼうし、「ぶん」が青い  
ぼうしをかぶります。このぼうしには、  
ひみつがあるのです。

### あらすじ

赤い帽子をかぶると働き者の「るん」。  
青い帽子をかぶると、働き者の「るん」  
を励ます「ぶん」。ふたごの雪だるまは、  
かぶる帽子の色で、毎日名前と役割を  
変えていた。ある朝、二人は青い帽子の  
取り合いをして、帽子を真っ二つに破っ  
てしまう。

### 図書館からのコメント

帽子の色によって名前が変わるという  
設定が面白い。一人読みを始めて少し  
経った子供にお薦め。温かみのある挿絵  
も著者によるもの。

## ロージーちゃんのひみつ

モーリス=センダック さく・え  
なかむらたえこ やく  
偕成社

978-4-03-431080-9



キャシーはロージーのいえのドア  
を、3かいたたきました。3かいたた  
くと、ロージーがひみつをおしえてく  
れるのです。

### あらすじ

ある日、キャシーがロージーの家を訪  
ねると、ロージーは歌手のアリンドにな  
りきっていた。キャシーもチャチャルー  
という踊り子になりきって、二人で母親  
のドレスやハイヒールを身に着ける。二  
人は裏庭に友達を招いてショーを行う。

### 図書館からのコメント

言葉遣いがやや古い箇所もあるが、こ  
こに描かれた子供たちの遊びの本質は、  
今も変わらない。外国の子供の日常生  
活の話だが、子供同士の会話を中心に話  
が進むので、読者の子供たちも遊びの様  
子を理解しやすい。

## うずらのうーちゃんの話 はなし

かつやかおり 作  
福音館書店

978-4-8340-2622-1



ぼくのペットのうずらのなまえは、  
うずら野うーちゃん。うーちゃんは、  
外に出るのが大すきです。バタバタと  
とんでいきます。

### あらすじ

ぼくは幼稚園からウズラをもらい、うずら野うーちゃんと名付けて世話をする。うーちゃんは庭に出ると、忙しそうに歩き回り、夢中で砂浴びをする。ぼくはうーちゃんが産んだ卵を目玉焼きにして食べた。ある日、変な音に振り返ると、うーちゃんはネコと戦って、倒れていた。

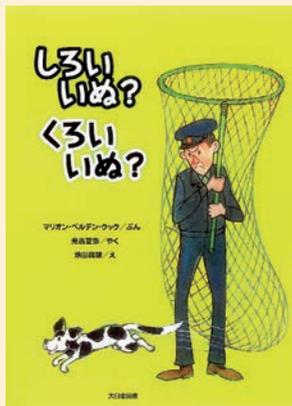
### 図書館からのコメント

子供とウズラの触れ合いの日々が、「ぼく」という一人称により語られる。動物と人間の距離感、動物の生き様が感傷的ではなく淡々と書かれており、ウズラの生命力を伝える。赤一色の挿絵が印象的。

## しろいいぬ? くろいいぬ?

マリオン・ベルデン・フック ぶん  
光吉夏弥 やく 池田龍雄 え  
大日本図書

978-4-477-02549-0



白い子犬のワググルズは、デパートで、おちていたぼうしをくわえます。すると、「どろぼう!」とどなりごえ。おどろいてにげだします。

### あらすじ

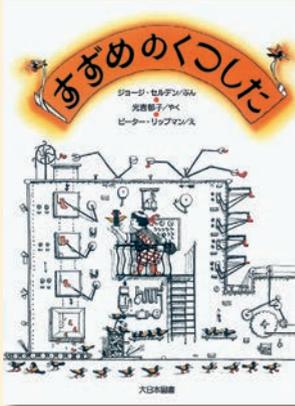
ノラ犬のワググルズは、物をくわえることが大好きな白い子犬。ある日、デパートの売り場に落ちていた帽子をくわえて、犬捕りに追いかけられる。ワググルズは、石炭の中に飛び込んで黒い犬になったり、尻尾だけペンキにつけて白くしたり、次々に体の色を変えて逃げていく。

### 図書館からのコメント

体の色や模様を変えながら、逃げていくワググルズと、それを追いかけて回す犬捕りの姿がユーモラスに展開する。追いかけてこの展開にわくわくしながら読める。

## すずめのくつした

ジョージ・セルデン ぶん 光吉郁子 やく  
ピーター・リップマン え  
大日本図書 978-4-477-02079-2



アンガスはすずめたちに、ちっちゃ  
なくつたしたをつくります。すずめがみん  
なあかいしたくつ下をはいているので、まち  
人たちはふしぎがります。

### あらすじ

アンガスのうちでは、靴下工場を経営しているが、靴下はさっぱり売れない。ある冬の朝、アンガスは、足が冷たくて震えている仲良しのスズメ、ブルースに、工場の機械で靴下を作ってあげる。ブルースの靴下を見たスズメたちは、次々にアンガスのところに飛び込んで来る。

### 図書館からのコメント

工場の糸を全部使って、スズメたちの靴下を作ってしまったため、人間の靴下が作れなくなり困ってしまうアンガス。それを知って、靴下を返しに来るスズメたち。仲間を思う気持ちに心が温まる物語。

## ちい ちい 小さな小さな なな 七つのおはなし

リリアン・ムーア 作  
福本友美子 訳 高桑幸次 絵  
日本標準 978-4-8208-0541-0



ふくろうのホーホのおじいちゃん  
は、いろいろしっています。めがねを  
かけているからかな？ホーホもそのめ  
がねをかけてみます。

### あらすじ

フクロウのホーホのおじいちゃんは、眼鏡をかけて毎日世界中を見ている。森の動物たちはおじいちゃんに、いろいろなことを聞きに来る。ホーホは眼鏡をかければ何でもわかるようになると思ひ、おじいちゃんが落とした眼鏡をかけて、動物たちの質問を聞くが、さっぱりわからない。

### 図書館からのコメント

七つの短編が収録されている本。1話完結なので、一つの物語を読めば、子供たちは読んだという達成感を味わえる。どの物語も動物や子供などが主人公で親しみやすい。

## ちびねこチョコビ

角野栄子 作 垂石眞子 絵  
あかね書房

978-4-251-00721-6



子ネコのチョコビは、おくさんの大じなふくをよこしてしまいます。おこられたチョコビは、ふんっと、いえからとびだしました。

### あらすじ

黒ネコのメメの子供は、男の子のサビ、トビ、女の子のチョコビの3匹。チョコビは一番のいたずらっ子だ。ある日チョコビは、飼い主の奥さんのよそ行きの服を泥で汚して怒られ、外へ逃げ出した。

### 図書館からのコメント

いたずらから始まるピンチ、そして安堵する結末と、起承転結がはっきりした子ネコの物語。読者の子供はチョコビとともに、一つの冒険をした気持ちを持つことができる。

## でっかいねずみとちっちゃなライオン

イブ・タイタス ぶん 光吉夏弥 やく  
レオナード・ワイズガード え  
大日本図書

978-4-477-02550-6



ようせいがまほうをかけます。ねずみがライオンより大きく見えて、ライオンがねずみより小さく見えるように。

### あらすじ

人間の世界を見に行きたいネズミとライオンが、それぞれ町を探しに出かけた。通りかかった妖精は、人間の目にネズミがライオンより大きく、ライオンがネズミより小さく映るよう魔法をかける。するとネズミは人間に怖がられ、ライオンはかわいがられる。2匹は人間の反応を不思議がる。

### 図書館からのコメント

物語の冒頭でネズミとライオンに魔法がかけられる。そのことを知って、読者は読み進めていくので、2匹と出会った人間たちの反応と、2匹の不思議がる様子を楽しみながら読むことができる。



## あのね、わたしの たからものはね

ジャニス＝メイ＝ユードリイ 作  
エリノア＝ミル 絵 かわいともこ 訳  
偕成社

978-4-03-431070-0



メアリー・ジョーは、はずかしがりや。みんなのまえで、じぶんのたからものはなしを、なかなかすることができません。

### あらすじ

恥ずかしがりやのメアリー・ジョーは、クラスのみんなの前で、自分の宝物のお話をする事ができない。買ってもらった雨傘のことも、つかまえたバッタのことも、話そうと思って話すができない。ある夜、父さんと話をしていると、素晴らしい考えが閃く。

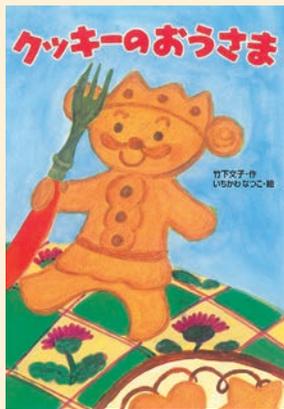
### 図書館からのコメント

内気な主人公の内面が、上手に描かれている。子供は、等身大の学校での生活の様子を主人公の身になって読んでいくことができる。最後の主人公の閃きに、心の中で拍手を送ることができる。

## クッキーのおうさま

竹下文子 作 いちかわなつこ 絵  
あかね書房

978-4-251-04019-0



りさちゃんはクッキーをやきました。オーブンのふたをあけると、「あち、あち、あちち！」と、クッキーのおうさまがとび出しました。

### あらすじ

りさちゃんが作ったクッキーの王様は、とてもいばりんぼ。早速、定規とハサミとセロテープを家来にして、お城を作る。その後も、部屋の中を探検したり、ネコと闘ったり、大冒険をする。最後にクッキーのお姫様を作ってもらい、めでたく結婚する。

### 図書館からのコメント

お菓子の箱のお城、文房具の家来など、子供の身の回りのものが擬人化され、いきいきと活躍する様子が面白い。クッキーの王様の視点で、楽しく家の中を冒険した気分を味わえる。温かな雰囲気の間挿絵も物語にぴったり。

# こうさぎのあいうえお

森山京 作 大社玲子 絵  
小峰書店

978-4-338-24501-2



字をおぼえた<sup>し</sup>こうさぎは、うれしく  
てたまりません。空<sup>そら</sup>にむかって「つ  
き」とかくと、ぴよんとはねました。

# こぐまのくまくん

E・H・ミナリック ぶん モーリス・センダック 絵  
まつおかきょうこ やく  
福音館書店

978-4-8340-0344-4



ゆきがふっています。くまくんは、  
オーバーもズボンもきました。そし  
て、けがわのマントがほしい、とおか  
あさんにいいますが…。

## あらすじ

お母さんから字を習った子ウサギは、「き」という字を子ギツネに教える。その夜、子ギツネが子ウサギの家を訪れ、「き」の字の手本を無くしたと言う。お母さんは、二人に「き」と「つ」と「ね」を教える。三人で外に出ると、空は満月。子ウサギと子ギツネは、空に向かって「つき」と書く。

## 図書館からのコメント

子ウサギたちの文字を覚える喜びと、文字を教える子ウサギのお母さんの優しさいっぱいのお話。一文字を覚えるところから始まり、最後に手紙を出せるようになる主人公の姿に、子供たちも共感できるだろう。

## あらすじ

雪が降る寒い日。くまくんはお母さんに、着るものが欲しいとねだる。お母さんは、帽子やオーバー、ズボンをこしらえてくれる。それでもくまくんは寒く、毛皮のマントが欲しいと言うと、お母さんは着ていたものをみんな脱がせる。一番暖かったのは、自分の毛皮のマントだった。

## 図書館からのコメント

短い物語が四つ収録されている。どの話からも、くまくんが、お母さんを信頼して甘えている様子を感じられる。お母さんがくまくんに向ける視線が優しい。

## こぶたのピクルス

小風さち 文 夏目ちさ 絵

福音館書店

978-4-8340-8149-7



あさ、ピクルスは、ぎゅうにゅうやさんのおてつだいをします。パンやさん、しんぶんやさんのおてつだいもします。学校にまにあうかな？

### あらすじ

子ブタのピクルスは、大きな声でカバンの中を点検し、学校へ出かける。スキップをしながら行くと、牛の牛乳屋と会う。配達を忘れた家があると聞き、届けてあげることに。その後出会ったパン屋も新聞屋も配達を忘れた家があり、これらの配達も引き受ける。

### 図書館からのコメント

ピクルスとその家族を中心とした、心温まる四つの短編が収録されている。1話完結なので、子供は一つの話を読むことで、物語を読み通した満足感を得ることができる。落ち着いた色調の挿絵も良い。

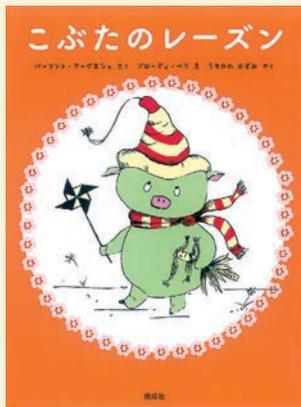
## こぶたのレーズン

パーリント・アーグネシュ さく

ブローディ・ペラ え うちかわかずみ やく

偕成社

978-4-03-431610-8



こびとのマノーのかぼちゃのいえを、だれかがたべはじめました。そとに出てみると、小さなこぶたがいました。

### あらすじ

カボチャの家に住んでいるマノーのところに、小さな子ブタが、おなかをすかせてやって来る。レーズンのように小さな子ブタに、マノーは「レーズン」と名付け、一緒に住むことにする。喜んだレーズンは、暖かい暖炉に入って眠り始める。

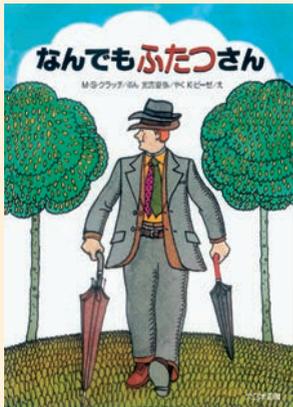
### 図書館からのコメント

小さくて甘えん坊のレーズンと、子ブタを見守るマノーとの生活が、愉快地に、また、温かく描かれる。続編として『こぶたのレーズンとおともだち』もあり、続けて読んで楽しむことができる。

## なんでもふたつさん

M・S・クラッチ ぶん 光吉夏弥 やく  
K・ビーゼ エ  
大日本図書

978-4-477-02084-6



なんでもふたつさんは、あさごはんも、ひるごはんも、ばんごはんも二人ぶん。なんでも二つでないと、きに入りません。

### あらすじ

なんでもふたつさんは二つ揃えるのが大好き。着るものも、食事も、家も、仕事も何でも二つ。でも残念なことに、息子と奥さんは一人ずつしかいない。ある日、近所に、息子にそっくりの男の子がお母さんと二人で引っ越してくる。

### 図書館からのコメント

なんでもふたつさんの何でも二つ揃えないと気が済まない癖は、お話の最後まで変わらず、その癖がめでたい結末に結びつく。ユーモアたっぷりの物語。

## ねずみの家

ルーマー・ゴッデン さく  
おびかゆうこ やく たかおゆうこ え  
徳間書店

978-4-19-861420-1



うえきばちのいえからおしだされてしまった、子ねずみのボニー。ねるばしょをさがし、かいだんをのぼると、きらきらとひかりが見えました。

### あらすじ

地下室の植木鉢に、ネズミの一家が住んでいた。鉢の中は満員で、一番小さいボニーは押し出されてしまう。眠る場所を探すボニーは、人形のネズミが入っている家を見つけ、その中で眠る。翌朝、女の子に見つかりそうになったボニーが、地下室に戻ると、そこには、昨晚眠った家があった。

### 図書館からのコメント

女の子が持つ人形のネズミが入っている家の描写から物語が始まり、どんな展開になるのかとわくわくして読み進めていく。温かい雰囲気挿絵が親しみやすい。子供はボニーに感情移入して、大きな冒険をした気持ちを味わえる。

# プレゼントはお・ば・け

西内ミナミ 作 西川おさむ 絵  
フレーベル館

978-4-577-03834-5



もうすぐたんじょうひなのに、リュウはしんぱいです。おかあさんからのプレゼントは、おばけだというのです。

## あらすじ

リュウは、夜一人でトイレへ行くことができないのに、おばけは怖くない、と勇ましいことを言っている。そんなリュウにお母さんは、誕生日におばけをプレゼントすると言う。だんだん心配になるリュウ。誕生日の日、お父さんが大きな包みを持って家に帰ってくる。

## 図書館からのコメント

おばけは怖くないと言うリュウに、おばけをプレゼントすると言うお母さん。このやりとりが楽しく、何回か繰り返されていくので、読者はどのようなのか、という気持ちが高まっていく。

# わたしのおかあさんは せかいいち 世界一びじん

ベッキー・ライアー ぶん 光吉郁子 やく  
ルース・ガネット え  
大日本図書

978-4-477-02087-7



まい子のワーリヤは、おかあさんの名まえをきかれ、なきじゃくりながらこたえました。「わたしのおかあさんは、世界一びじん！」

## あらすじ

ワーリヤは麦畑でいつの間にか眠ってしまい、お母さんとはぐれてしまう。迷子のワーリヤに、村の人たちがお母さんの名前を聞くと、ワーリヤは泣きじゃくりながら「わたしのおかあさんは、世界一びじん！」と答える。その言葉を聞いた村長さんは、村中から、美人の母親を呼び集める。

## 図書館からのコメント

お母さんは、娘の目から見れば世界一の美人。お母さんが大好きという娘の感情が伝わってくる。

## あおい目のこねこ

エゴン・マチャーセン さく・え  
せたていじ やく  
福音館書店

978-4-8340-0040-5



あおい目の子ねこは、ねずみのくにをさがしに、げんきに出かけます。みずうみで出あったさかなに、ねずみのくにのばしよをききますが…。

### あらすじ

青い目の元気な子ネコが、ネズミの国を探しに出かけるが、小さなハエやべとべとのアブラムシしか見つからない。黄色い目のネコたちと出会うが、青い目なんておかしいと仲間に入れてくれない。でも子ネコは元気よく旅を続ける。

### 図書館からのコメント

「1のまき」から「7のまき」まで章だてになっており、1章ずつ読むたびに、読んだという達成感が高まっていく。元気な主人公に心を寄せて楽しむことができる。

## エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット さく  
ルース・クリスマン・ガネット え  
わたなべしげお やく  
福音館書店

978-4-8340-0013-9



エルマーは、リュックにたくさんのだべものとうぐをつめこみます。リュウをたすけに、どうぶつじまへしゅっぱつです。

### あらすじ

エルマーはこっそり飼っていたネコからリュウの子が捕えられているどうぶつ島の話を知る。リュウの子を助けようと、エルマーはリュックを背負って船にしのびこみ、どうぶつ島に向かう。

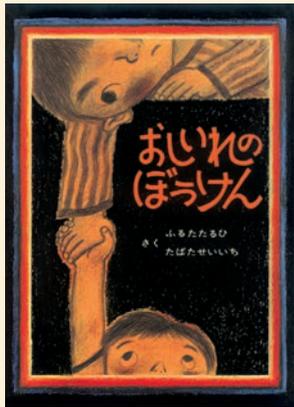
### 図書館からのコメント

見返しのカラーの島の地図とたくさんの挿絵が、子供の冒険心を掻き立てる。エルマーがどうぶつ島に出発するまでの導入が長いので、子供にはこの部分を上手に紹介したい。

## おいしいのぼうけん

ふるたたるひ、たばたせいいち さく  
童心社

978-4-494-00606-9



さくらほいくえんのこわいもの、それは「おいしい」と「ねずみばあさん」です。

### あらすじ

さとしとあきは、昼寝の時間にけんかをして、罰として押入れに閉じ込められる。暗い押入れで仲直りした二人は、いつの間にか不思議な世界に迷い込む。そこでは「ねずみばあさん」が、二人をネズミに変えようと追いかけてきた。さとしとあきは力を合わせ、追手から逃げる。

### 図書館からのコメント

保育園が舞台だが、ページ数が多く、内容も読みごたえがある。ひらがなで書かれており、挿絵も白黒を基調としたシンプルな絵なので、読書に苦手意識のある少し年齢の高い子供にも薦められる。

## おばあさんのひこうき

佐藤さとる 作 村上勉 絵  
小峰書店

978-4-338-01804-3



おばあさんが、けいとでチョウのはねのもようをあむと、ぴくんとあみものがうごきました。おばあさんはいいことをおもいつきます。

### あらすじ

編み物が大好きなおばあさんが毛糸を編んでいると、窓から美しい模様のチョウが入ってきた。そこで、このチョウの模様を編むことに。編み続けていくと、編み物はふわふわと浮き上がる。おばあさんは、この編み方で毛糸の飛行機を編み、空を飛ぼうと思いつく。

### 図書館からのコメント

おばあさんがチョウの模様を編み始めたところから、物語が一気に動き出し、読者の期待が高まっていく。空を飛んでみたいと夢を抱く子供たちを十分楽しませてくれるだろう。

## おばけのジョージ おおてがら

ロバート・ブライト 作・絵  
なかがわちひろ 訳  
徳間書店

978-4-19-861804-9



ジョージのすむいえに、どろぼう  
がはい入ってきました。なんとかしななかきゃ。  
小ちいさくではずかしがりやでも、ジョー  
ジーはおばけです。

### あらすじ

ホイッティカーさん夫妻の家に住むお  
ばけのジョージは、とても恥ずかしがり  
や。人を驚かすことなんてできない。  
夫妻が留守の夜、二人組の泥棒がやっ  
て来て、家具を盗んでいく。ジョージは、  
ネコのハーマンやフクロウのオリバーと  
ともに、泥棒たちを追いかける。

### 図書館からのコメント

恥ずかしがりやのおばけが泥棒をやっ  
つける楽しい物語。ジョージと動物た  
ちの連携プレーも見どころ。文字は小ちい  
さいが、文章はわかりやすく、低学年の子  
供にも薦めたい。

## きえたいぬ犬のえ

マージョリー・W・シャーマツ ぶん  
マーク・シーモント え 光吉夏弥 やく  
大日本図書

978-4-477-02694-7



めいたんていのネートは、アニーの  
たいせつなえをさがします。へやの  
中なかにわ、ともだちのいえ、どこにも  
ありません。

### あらすじ

ネートのところに、アニーから電話が  
かかってきた。愛犬のファンクを描いた  
絵が無くなってしまったので、見つけて  
欲しいと言う。ネートはアニーの家に駆  
けつけ、絵を探すが見つからない。庭や  
友達の家も探すが見つからない。最後に  
アニーの弟ハリーに会い、ついに絵を見  
つける。

### 図書館からのコメント

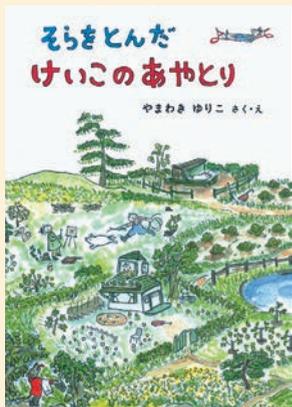
登場人物の挿絵が親しみやすい。また、  
挿絵の色使いが謎解きの助けになる。長  
年にわたって刊行されている「ぼくはめ  
いたんてい」シリーズの1冊。1冊読み  
終わると、同シリーズの別の事件の本も  
手に取ってみたいくなる。

## そらをとんだ けいこのあやとり

やまわきゆりこ さく・え

福音館書店

978-4-8340-0322-2



けいこは<sup>あか</sup>赤いけいとでひもを<sup>あ</sup>みま  
した。ひもは<sup>ど</sup>どん<sup>ど</sup>んのびて、にわの  
は<sup>し</sup>しまでとどきます。このひもで、何<sup>なに</sup>  
してあそぶ？

### あらすじ

一年生のけいこは、お母さんにくさり  
あみの作り方を教えてもらい、赤い糸で  
編んでいく。長く長く編み、ひもは庭の  
端まで届く。両端を結んであやとりのひ  
もにすると、あやとりは大きな四段梯子  
となり、けいこを乗せてふわりと空に浮  
かぶ。

### 図書館からのコメント

あやとりのひもによって、日常から想  
像の世界へと進んでいく物語。見開きご  
とに、登場人物等が話すせりふが吹き出  
しで書かれており、ストーリーとせりふ  
の楽しさを同時に味わうことができる。

## たんたのたんてい

中川李枝子 さく 山脇百合子 え

学研プラス

978-4-05-104615-6



たんたのうちのゆうびんうけに入<sup>はい</sup>  
っていたのは、しんぶんではなく、あや  
しいチューブ。むしめがねを出<sup>だ</sup>して、  
そうさをはじめます。

### あらすじ

たんたが新聞を取ろうと郵便受けをの  
ぞくと、謎のチューブが入っていた。虫  
眼鏡で調べると、それはウサギのギック  
の歯磨き粉だった。ギックが歯磨き粉を  
置いたはずの場所には、また別のチュー  
ブが。二人は不思議な出来事の調査を始  
める。

### 図書館からのコメント

1話の中で、同じパターンが繰り返さ  
れる、子供が喜ぶタイプの物語。次々  
に出てくるチューブとは何か、推理しなが  
ら読むのも楽しい。活字は小さめだが、  
余白が十分にとってある。温かで優しい  
タッチの挿絵は、子供が手に取りやすい。

## はじめてのキャンプ

林明子 さく・え  
福音館書店

978-4-8340-0972-9



あさってはキャンプです。なほちゃんは「いく！」といました。大きい子にだめといわれても、なほちゃんはおきらめません。

### あらすじ

なほちゃんは、ともこおばさんの家に遊びに行く。おばさんの家には大きい子たちも来ていて、明後日キャンプに行くと言う。なほちゃんも一緒に行きたがるが、大きい子たちはダメだと言う。なほちゃんが、夜一人で暗い外におしっこに行けると言う、連れて行ってもらえることになる。

### 図書館からのコメント

年上の子供たちの中で、奮闘するなほちゃんの姿、また、自炊、キャンプファイヤー、怖い話など、子供たちの楽しいキャンプの様子が微笑ましく描かれている。短文で絵がたっぷりあるので、一人読みの最初の一冊としてお薦め。

## ふらいぱんじいさん

神沢利子 作 堀内誠一 絵  
あかね書房

978-4-251-00635-6



ふらいぱんじいさんは、たびに出ました。どんどんいくと、ひろいうみにきました。じいさんはうれしくて、うみにとびこみます。

### あらすじ

ふらいぱんじいさんは、いつも子供たちに卵を焼いている。ある日、新しい鍋が買われてきたため、じいさんは卵を焼かせてもらえなくなる。じいさんは広い世の中に出て、何かやってみようと考え、旅に出る。

### 図書館からのコメント

いくつもの事件が次々に繰り広げられるストーリー展開で、どんどん読み進めていくことができる。ちょっぴりとぼけたような挿絵が親しみやすい。

## ぺちゃんこスタンレー

ジェフ・ブラウン 文 トミー・ウングレー 絵  
さくまゆみこ 訳  
あすなる書房

978-4-7515-1884-7



あるあさ、とつぜんぺちゃんこになってしまったスタンレー。びっくりしたけど、ぺらぺらのからだは、なかなかべんりだ。

### あらすじ

スタンレーは、ある朝突然、厚さ1.3センチになってしまう。最初は戸惑ったが、ぺちゃんこだとドアの下をくぐったり、くるくる巻かれてお父さんに運んでもらうことができる。弟のアーサーは、スタンレーがうらやましくて仕方がない。だが、他の人はスタンレーの姿をからかいたす。

### 図書館からのコメント

突然体がぺちゃんこになってしまうという奇想天外なストーリー。ぺちゃんこな体がいかに便利か、登場人物たちが皆、肯定的にとらえているのが面白い。

## りすのスージー

ミリヤム・ヤング ぶん 光吉郁子 やく  
アーノルド・ロベル エ  
大日本図書

978-4-477-02082-2



スージーは木のてっぺん<sup>き</sup>のいえて、どんぐりのプディングをつくります。かぜにゆられてねむります。そこへ、あかりすたちがやってきました。

### あらすじ

料理や掃除が大好きなリスのスージーは、榎の木のてっぺんの居心地の良い家で、静かに暮らしていた。ある日、暴れん坊のアカリスの一団がやって来て、スージーを家から追い出す。仕方なく空き家の屋根裏部屋の人形の家で暮らし始めたスージーだったが、榎の木の家が恋しくてたまらない。

### 図書館からのコメント

スージーがどうなるかドキドキしながら読み進めると、最後は元の自分の家に戻れてホッとする。文字が大きく、余白がたっぷりとられており、一人読みを始めたばかりの子供も手に取りやすい。

## タイトルさくいん (50音順)

あおい目のこねこ	22	たんたのたんてい	25
あのね、わたしのたからものはね	17	小さな小さな七つのおはなし	14
うずらのうーちゃんの話	13	ちびっこ大せんしゅ	9
エルマーのぼうけん	22	ちびねこチョコビ	15
王さまのアイスクリーム	3	でっかいねずみとちっちゃなライオン	15
おおきなおおきなおいも	3	どれみふぁけるけろ	10
おいしいのぼうけん	23	どろんここぶた	16
おばあさんのひこうき	23	なぞなぞのすきな女の子	16
おばあちゃんのすてきなおくりもの	7	なんでもふたつさん	20
おばけのジョージーおおてがら	24	ねずみの家	20
おまじないつかい	7	はじめてのキャンプ	26
きえた犬のえ	24	はらぺこプンタ	5
きょうりゅうが学校にやってきた	8	ふたごのでんしゃ	10
クッキーのおうさま	17	ふたりはともだち	11
くまの子ウーフ	8	ふらいぱんじいさん	26
けしつぶクッキー	4	プレゼントはお・ぼ・け	21
こうさぎのあいうえお	18	ぺちゃんこスタンレー	27
こぐまのくまくん	18	みどりいろのたね	6
こぶたのピクルス	19	ものぐさトミー	6
こぶたのレーズン	19	やさしい大おとこ	11
しょうぼうしょは大いそがし	4	ゆきだるまのるんとぶん	12
しろいいぬ? ぐろいいぬ?	13	りすのスージー	27
すずめのくつつた	14	ロージーちゃんのひみつ	12
ぞうのオリバー	9	わたしのおかあさんは世界一びじん	21
ぞうのたまごのたまごやき	5		
そらをとんだけいこのあやとり	25		



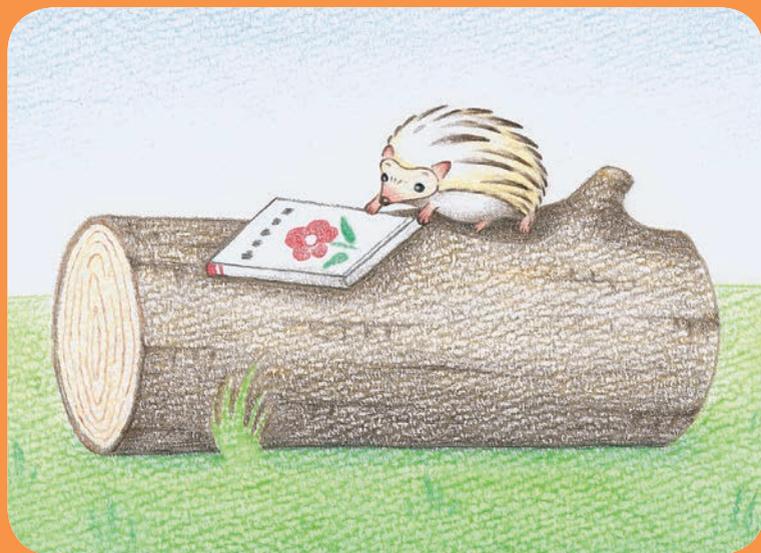
# 物語の読み聞かせを

幼年文学は読み聞かせて楽しむことができます。

ここには長い間読み継がれているお話や昔話など、読み聞かせで十分楽しめる本を掲載しました。

タイトル	著者名等	出版社	ISBN
あたまをつかった 小さなおばあさん	ホープ・ニューウェル 作 松岡享子 訳 山脇百合子 画	福音館書店	978-4-8340-0242-3
あるきだした小さな木	テルマ=ボルクマン 作 シルビー=セリグ 画 花輪莞爾 訳	偕成社	978-4-03-404140-6
こぎつねコンチ	中川李枝子 さく 山脇百合子 え	のら書店	978-4-931129-32-0
おすのつぼにすんでいた おばあさん	ルーマー・ゴッデン 文 なかがわちひろ 訳・絵	徳間書店	978-4-19-861360-0
おそうじをおぼえたがらない リスのゲルランゲ	ジャンヌ・ロッシュ=マゾン さく 山口智子 やく 堀内誠一 え	福音館書店	978-4-8340-0399-4
ちいさいロッタちゃん	アストリッド=リンドグレーン さく イロン=ヴィークランド え 山室静 やく	偕成社	978-4-03-532020-3
チム・ラビットのぼうけん	アリソン・アトリー 作 石井桃子 訳 中川宗弥 画	童心社	978-4-494-01104-9
テディ・ロビンソンの たんじょう日	ジョーン・G・ロビンソン 作・絵 小宮由 訳	岩波書店	978-4-00-115653-9
番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー さく 松岡享子 やく 大社玲子 え	福音館書店	978-4-8340-1099-2
はんぶんのおんどり	ジャンヌ・ロッシュ=マゾン さく やまぐちともこ やく ほりうちせいいち え	瑞雲舎	978-4-916016-12-6
ミリー・モリー・マンデーの おはなし	ジョイス・L・ブリスリー さく 上條由美子 やく 菊池恭子 え	福音館書店	978-4-8340-0702-2
もりのへなそうる	わたなべしげお さく やまわきゆりこ え	福音館書店	978-4-8340-0298-0
子どもに語る日本の昔話 1~3	稲田和子, 筒井悦子 著	こぐま社	978-4-7721-9019-0 978-4-7721-9021-3 978-4-7721-9022-0
エパミナダス (愛蔵版おはなしのろうそく1) ※第2巻以降も刊行中	東京子ども図書館編	東京子ども 図書館	978-4-88569-050-1





## ひとりでよめるよ

平成 28 年 3 月 1 日発行

登録番号 (27)22

編集・発行 東京都立多摩図書館

〒190-8543 立川市錦町 6-3-1

(東京都多摩教育センター内)

電 話 042-524-6428

ファクシミリ 042-525-9168

デザイン 山浦印刷株式会社